

新型コロナウイルス感染症予防と区民生活を守る対策を要望！

本区において、今後、新型コロナウイルス感染症が収束に向かい緊急事態宣言が解除されたときには、どのように区民生活を守り、経済活動を活性化させていくかが大きな課題になってきます。そこで、区議会公明党は、5月13日に齊藤猛江戸川区長に対し、3月19日、4月21日に引き続き、3回目となる「新型コロナウイルス感染症への対応の強化を求める緊急要望書」を提出しました。齊藤区長からはしっかりと取り組んでいくとの答弁がありました。竹平区議は、区民生活への影響を最小限にとどめる対策を強化し、一日にも早く感染症が終息し、安心して日常の暮らしができるよう、全力で取り組んでまいります！



令和2年3月19日 江戸川区役所にて

新型コロナウイルス
感染症について
江戸川区ホームページ



新型コロナウイルス感染症への対策の強化を求める緊急要望書

【令和2年5月13日】

- 医療・介護関係者、保育関係者、感染リスクの高い理美容、葬祭業、クリーニング業等、また薬局や食料品店、運送業等、生活を支える事業者の皆様への更なる支援を。
- 外出自粛が長期化し、孤立化が心配な高齢者や障がい者への見守り強化と買い物や食の支援を。また、虐待リスクの高い子育て家庭へは児童相談所を中心に学校等と連携し支援強化を。
- 新型コロナウイルス関連の情報提供については、外国籍の方や聴覚・視覚障がい者等に対して意思疎通支援の強化を。特別定額給付金コールセンターでは多言語やFAX等での対応を検討し、一人ももれなく給付金を申請できるような対応を。
- 免疫力が低く、新型コロナウイルス感染症により重篤化するリスクの高い難病患者や長期慢性疾患患者、人工透析患者及びその家族に対して、必要な方へのPCR検査の実施と、陽性反応となつた場合の適切な医療の提供を。人工透析患者の場合には入院治療体制の確保を。
- 区の融資制度、東京都の協力金の申請や雇用調整助成金の申請などに対して、区の中小企業相談室を通じて、区内の税理士会や社会保険労務士等の専門家の協力を得て、区内中小零細企業の相談体制の充実を。
- 内定取消しになつた方やアルバイト収入が無くなり生活困難となつた学生を対象に、非常勤や臨時の区職員として採用の検討を。
- 小中学校の休校延長にあたり、週に1回程度の課題配布日の実施の際は、児童生徒の家庭で虐待を早期発見するために、登校しない家庭に対しては必ず家庭訪問し、個別の支援を。
- 児童生徒が家庭学習に取り組める環境作りを支援するために、各学校で各学年に対応した動画を配信し、プリントなど紙教材による担任との双方方向のきめ細やかな対応を。
- 東京都のPC貸与等のオンライン学習の環境整備支援を活用して、区立小中学校のオンライン学習の環境整備を推進し、教育機会の確保を。
- 学校の分散登校の開始に向けて、学校給食の再開も含めた万全の体制整備とともに、感染予防のため非接触デジタル体温計を区立小中学校に配備を。
- 子どもたちへの食の支援として、持ち帰る事ができる弁当など工夫をして学校給食の再開を。また、「子どもごはん便」の条件を緩和する等で利用者を増やす工夫をして、食の支援を。

車椅子での移動がスムーズに！！

私道から公道へのつなぎ目に段差があり、車椅子で通院する方から、移動が困難なため修繕してほしいとの相談を受けました。



(西篠崎2丁目)

区の土木部保全課と協議した結果、さきごろ舗装工事が終わり、相談者からは喜びの声が聞かれています。

暗い夜道の安全対策！！

(東小岩2丁目)

土手の階段は、日が暮れると暗くて足元が見えず、転倒事故が起きており安全対策を講じてほしいと、地域の方から相談を受けました。区の土木部保全課と協議した結果、街灯の向きを変更し、照明の調整を行い、このほど改善されました。

